



Windows 10移行後の 更新管理を劇的にラクにする HPのソフトウェアと新サービス

株式会社 日本HP
クライアントソリューション本部
ソリューション営業部
漵上 弘士 (hiroshi.fuchigami@hp.com)



本日お伝えしたい内容

- IT部門が直面している課題
- Windows 10 機能更新の頻度と制御方法
- Windows 10移行後の更新管理を劇的にラクにするコツ
- HPのWindows10関連サービス



IT部門が直面している課題



IT部門が直面している課題



増加する
デバイス



マルチOSの
複雑さ



情報セキュリティ
の脅威



逼迫した
ITリソース

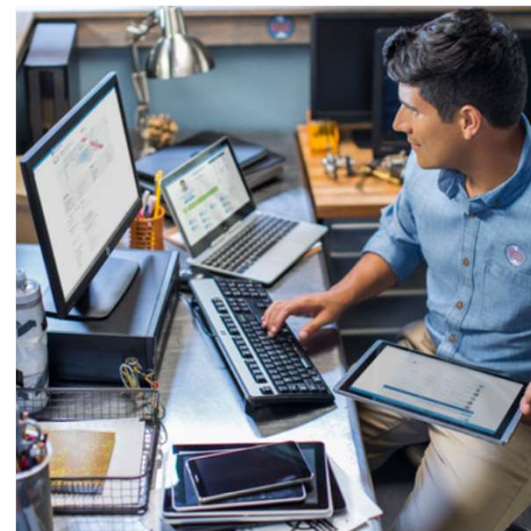


IT部門の業務量についてアンケートを取りました。

IT部門の業務が以前より増えている： **82.7%**



最大の要因はデバイスに関する業務： **53.4%**



※2019年1月日本HP調べ



Windows 7 / Office 2010 サポート終了



2020年1月14日
延長サポート終了



2020年10月13日
延長サポート終了





Windows 10 機能更新の頻度と制御方法



Windows10から導入される2種類の「更新」プログラム

機能更新プログラム (FU)

品質更新プログラム (QU)

目的

Windows 10 の機能拡張
従来のOSアップグレードに
相当

セキュリティ更新

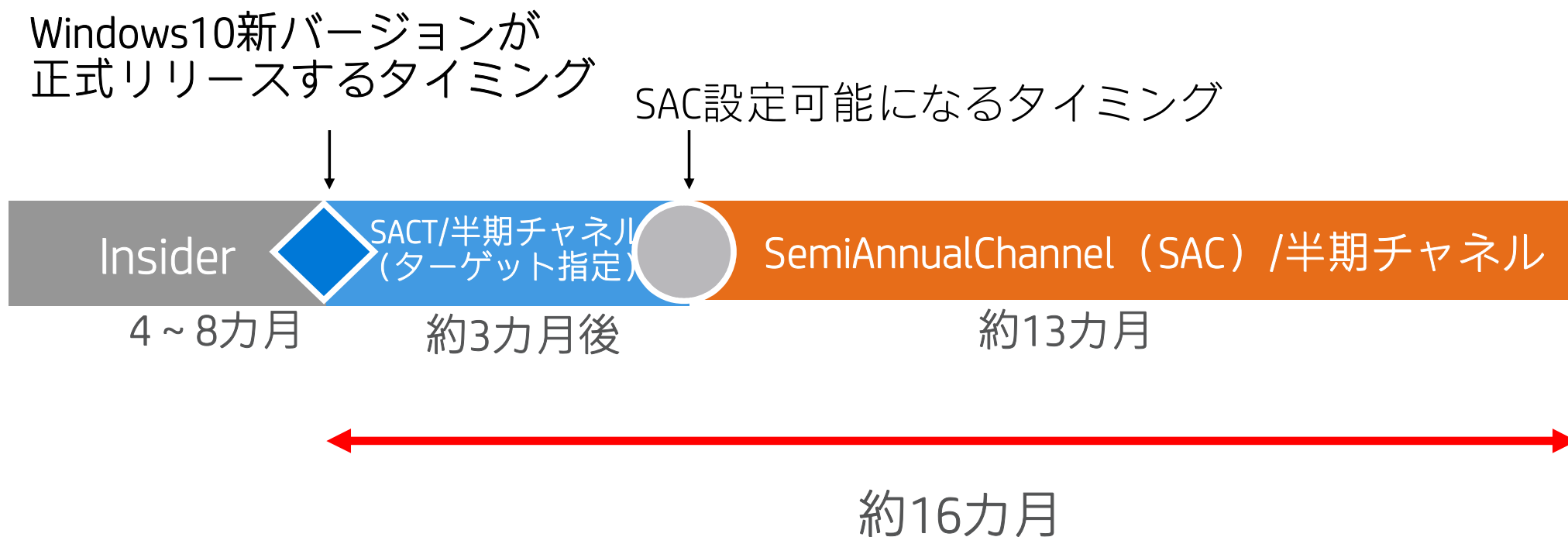
頻度

年2回 (3月と9月頃) の
リリースを予定

毎月のリリースを予定



WaaS (Windows as a Service) のリリースライフサイクル



機能更新プログラムの展開を制御する方法

1 Windows Updateの詳細オプション（ユーザー制御）

遅延させる

2 グループポリシー/MDM（システム管理者制御）

3 Windows Server Update Services(WSUS)

社内サーバで止める。

4 System Center Configuration Manager（SCCM）



Windows 10移行後の更新管理 を劇的にラクにするコツ



Windows 10移行後の更新管理を劇的にラクにするコツ

メーカーや機種をできるだけ統一する

ドライバ互換性をチェックする仕組みを作る

ディスク暗号化ソフトウェアはBitLockerに

ウイルス対策ソフトウェアはWindows Defender

セキュアな有線LAN環境を確保しておく

規模に応じてサーバ環境を整備しておく



Windows10環境では メーカー、機種はできるだけ統一する

メーカー、機種毎に
異なる操作



メーカー毎に異なる
修理連絡先



メーカー、機種毎に
検証が必要

A社
C社

メーカー、機種毎に異なる
マスターイメージ



デバイス毎に異なる
BIOS/デバイスドライバ管理



Windows10環境では
ドライバ互換性をチェックする仕組みを作る。

HP独自のドライバ更新ソフトウェア

利用者用ソフトウェア

①HP Support Assistant

システム管理者用ソフトウェア

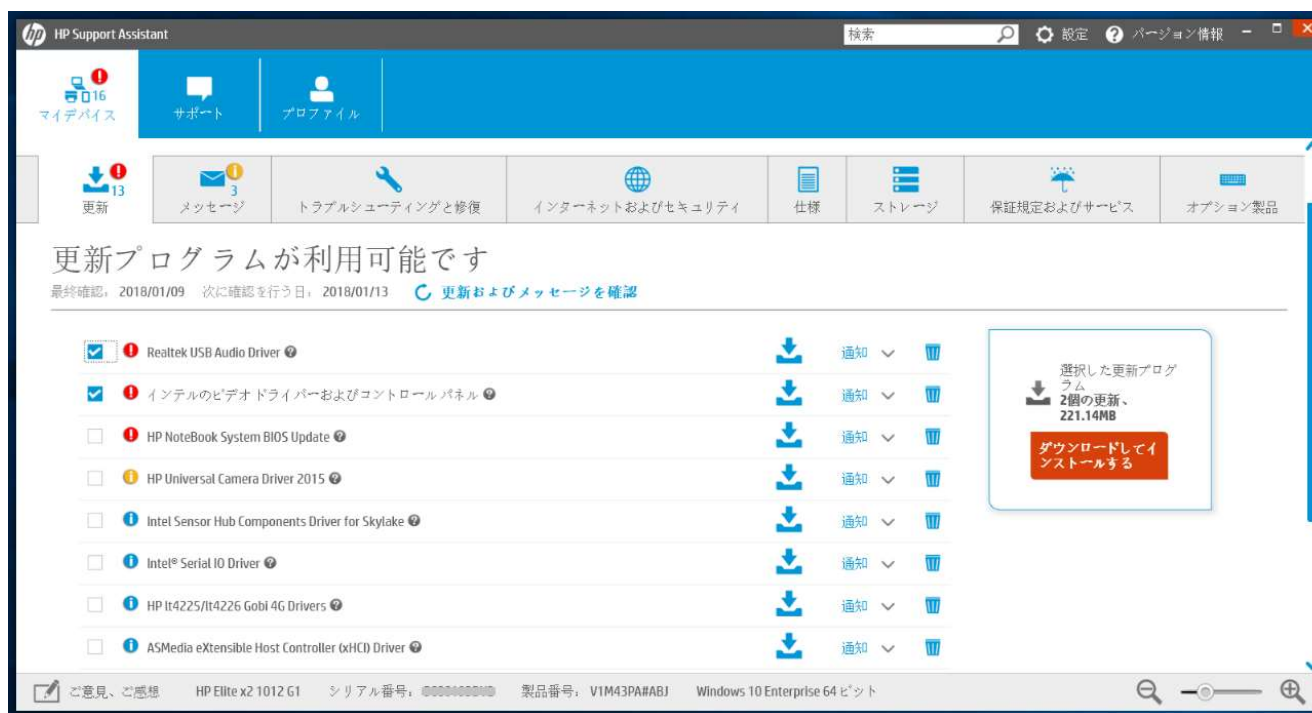
②HP Image Assistant



①HP Support Assistant

HP Support Assistantは利用者用のソフトウェアです。

利用者が自分のPCでドライバー・ファームウェア更新するソフトウェア



②HP Image Assistant

HP Image Assistantはシステム管理者用のソフトウェアです。

ドライバーの取得



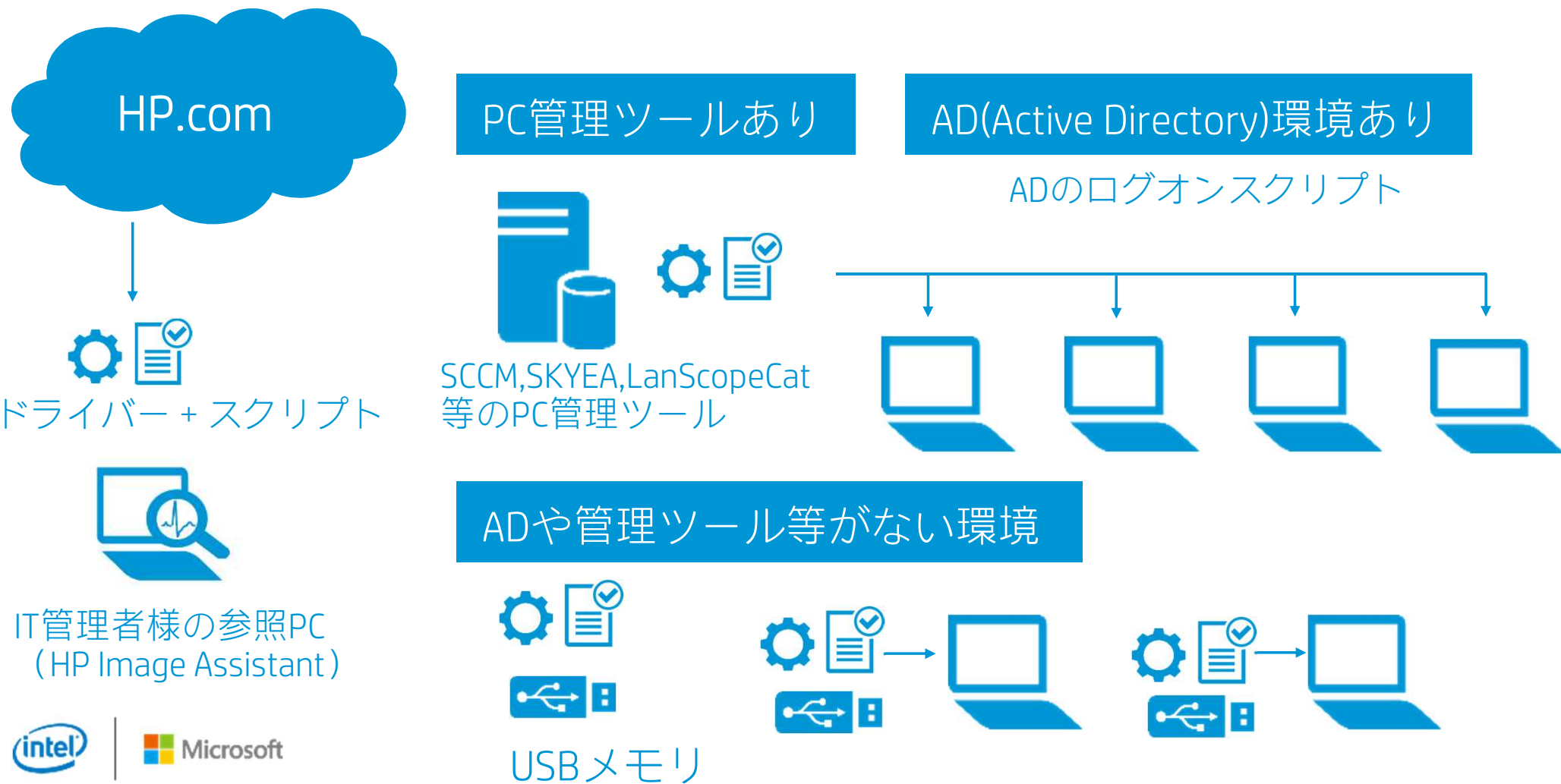
OSの種類と機種を指定→
適切なドライバーのSoftPakを取得。

SoftPakを展開したフォルダの中には
インストールのためのWindowsコマンド
スクリプトファイルが含まれています。

名前	カテゴリ	リリースの種類	バージョン	Softpak
Conexant USB Audio Driver for Docks	Driver - Audio	Routine	1.31.36.23	sp85071
Intel Management Engine Driver HPSBHF03592 rev. 1 - インテルコンパニオンセキュリティおよびマネジメント...	Driver - Chipset	Critical	11.7.0.1067	sp88924
Intel Sensor Hub Components Driver	Driver - Chipset	Routine	3.1.0.3524	sp84545
Intel Serial IO Driver	Driver - Chipset	Routine	30.100.1725.1	sp84424
Intel Chipset Installation Utility	Driver - Chipset	Routine	10.1.1.45	sp84426
Intel Dynamic Platform and Thermal Framework Driver	Driver - Chipset	Routine	8.3.10207.5567	sp84427
Intel Thunderbolt 3 Secure Connect for 2018	Driver - Controller	Routine	17.4.75.250	sp87260
Intel Video Driver and Control Panel アドバイザリ	Driver - Graphics	Routine	24.20.100.6223	sp91535



自動インストール用に展開されたドライバーの配信



Windows10環境では ディスク暗号化ソフトウェアはBitLockerに

サードパーティ製の暗号化ソフトウェアの場合、

①Windows 10の機能更新する際、暗号化ソフトウェアのバージョンアップが必要になる場合がある。

②Windows 10の機能更新を実施する前に暗号化を解除しないと、Windows の 10 の機能更新がクラッシュする。



BitLockerで暗号化された端末のWindows 10の機能更新する際は、暗号化されている状態で更新可能です。

Windows10環境では ウイルス対策ソフトウェアはWindows Defender

ウイルス対策ソフトや、常駐系ソフトは注意が必要

Windows Defenderはマイクロソフト純正です

Windows10環境では セキュアな有線LAN環境を確保しておく

有線LANがない2in1型PCの場合
ドッキングステーションを使った
有線LANのMAC Address パススルー
が有効。



Dockの元の MAC Address
[E0-4F-43-59-B0-D2]
(元のMAC Address)

接続時
Dockの MAC Address
[50-65-F3-CB-01-4F]
(ホストMAC Addressに入替わる)



Windows10環境では
規模に応じたサーバ環境を整備しておく

PCメーカーであるHPも、
サーバ環境構築、WaaS運用設計や、
運用代行サービスを始めました。

サーバ環境構築サービス
始めました！





HPのWindows10関連サービス

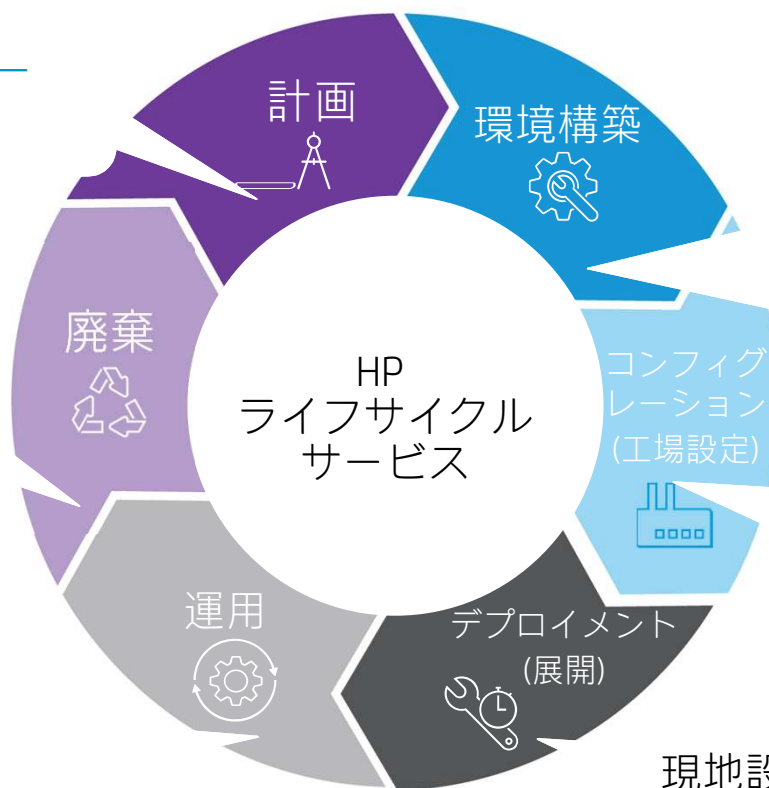


Windows10環境を支援するHPライフサイクルサービス

導入計画 アドバイザリー
サービス

デバイスリフレッシュ
(PC買取)

WaaS運用代行サービス
HP TechPulse プロアクティブ管理



Active Directory 構築サービス
WSUS構築サービス
SCCM構築サービス
Intune構築サービス
Azure AD構築サービス
WaaS運用設計サービス

マスター展開サービス
Window10 lot Enterpriseインストールサービス
BIOSパスワード設定

現地設置サービス
データ移行サービス

導入計画アドバイザーサービス Windows10導入をこれから始めるお客様へ

現在の環境について、ヒアリングシートにご記入いただきます。

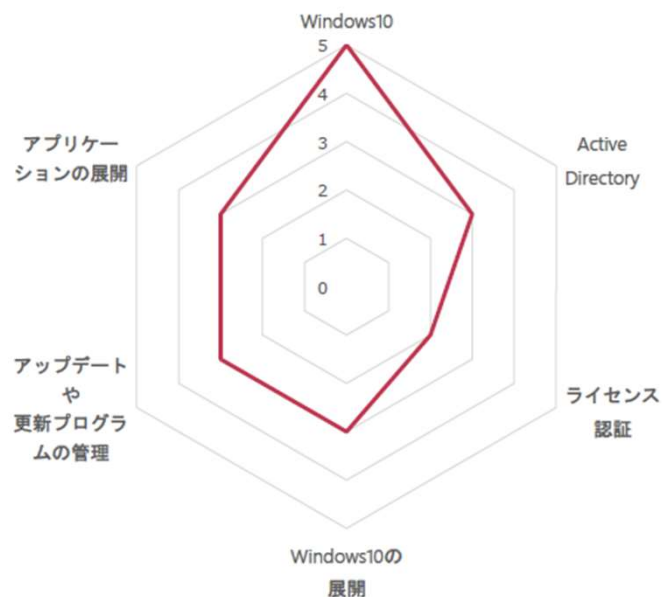


Windows10導入するには現環境の何を整理すべきなのか、
どんなことに気を付けなければならないか。
様々な手法がある中で、何を選べば良いのか、
何をすべきなのかを整理。



成果物（例）

計画支援サマリー



総合評価

19/30 Point

2.1.Windows10 について

区分	貴社環境	判定
導入端末	PCのみ(タブレット/スマートフォンなし)	○
現行エディション	Professional	○
導入予定のエディション	Enterprise	○

2.1 Windows10 サマリー

貴社環境でお勧めする Windows10 のエディションは「Enterprise」です。
OA 端末のみのご利用なので、「SAC」での導入をお勧めします。

2.2.ActiveDirectory の要件

区分	貴社環境	判定
OS	Windows Server 2008 R2	△
ドメインの機能レベル	Windows Server 2008	○
GPO	使用	○

2.2.ActiveDirectory サマリー

OS、機能レベル面では Windows10 の要件を満たしています。
GPO での制御も活用していますので、Windows10 導入後の WaaS 運用の中で、GPO 運用についても考慮が必要です。
Active Directory のサーバ OS が Windows Sever 2008 SP1 なので、EOS を迎える 2020 年 1 月までにアップデートを行う必要があります。

2.2.1.Active Directory 環境

【Advice】

OS、機能レベル共 Windows10 に対応しています。

しかし、Windows Server 2008 R2 は 2020 年 1 月にサポート終了となります。

早期に Windows Server 2008 R2 のアップデートの検討を推奨します。

※Microsoft Passport による認証を実施する場合は Windows Server 2016 以上が必要です

2.2.2.グループポリシーの管理

【Advice】

現在、クライアント PC を GPO で制御しています。Windows10 では機能アップデートごとに GPO テンプレートが更新されます。



環境構築・運用設計サービス

Windows10運用に必要なサーバ環境構築、WaaS運用設計します。



サーバ環境構築

Intune/Azure ADのクラウド環境構築
Active Directory/WSUS/SCCMのオンプレミス環境構築



WaaS運用設計

Windows10から導入されるWaaSの運用設計



WaaS運用代行サービス



WaaS運用代行

Windows10導入後のWaaS運用を支援します。



マスター展開サービス(コンフィグレーションサービス)



デバイスリフレッシュ(PC買取)



国内でデータ消去されたデバイスは、
その後ドバイにあるリファビッシュセンターに集まります



デバイスリフレッシュ(PC買取)

お手元のチラシをご覧ください。

2020年1月14日、Windows 7延長サポートが終了します
デバイスリフレッシュサービスを利用してWindows 10 PCの導入費用を抑えましょう

HPIは、法人のお客様の使い終わったPCを下取りいたします。

例えば、4年前に購入したHP Probook 450G2 100台を廃棄する場合
*標準モデル・Intel Core i5-520U

普通に廃棄したら?		HPのデバイスリフレッシュサービスなら	
廃棄費用	▲ 300,000円	1,020,000円	買取金額
受付手数料	▲ 7,500円	無料	受取手数料
データ消去	▲ 200,000円	▲ 104,000円	データ消去
配送費	▲ 200,000円	▲ 200,000円	回収費用
廃棄合計	707,500円の 廃棄費用の抽出が必要です。	716,000円を お客様へお支払いします!	お支払金額

お客様メリット
HPのデバイスリフレッシュサービスをご利用いただくことで、差し引き1,423,500円の損益貢献が可能です。

他社製もOK

HP以外のメーカーPCや、プリンター、サーバー、周辺機器等も買取対象です。

廃棄コスト削減

不要となったPCの廃棄コストを削減でき、さらに買取金額をHPの新たなPC導入費用にあてていただけます。

セキュリティ

買い取りさせていただいたPCは、ハードドライブのデータ消去を行い、データ消去証明書を発行いたします。



オモテ

HP Reinvent World 2019 にご来場いただいたお客様限定!

HP デバイスリフレッシュサービス
買取価格 **10%UP** キャンペーン!

WEBからお申込み
メールでお申込み
※10台以上の場合はこちら

HP デバイスリフレッシュ Webサイトにアクセス
www.hp.com/jp/refresh

HP デバイスリフレッシュ

WEB見積依頼へ進む
※2020年1月14日、Windows 7延長サポートが終了します。

※サービス仕様とご注意事項を必ずご確認ください。

WEB見積依頼へ進む
※2020年1月14日、Windows 7延長サポートが終了します。

※会社名の横に「HPRW2019」とご入力お願いします。

※メール件名に「HPRW2019」とご入力お願いします。

買取対象

買取対象 10%UP 対象条件

キャンペーン期間：2019年7月31日までのお申込み

- HP Reinvent World 2019 にご参加いただいた法人のお客様
- 買取対象のハードウェア本体が合計10台以上
- Intel Core i3/i5/i7 第一世代以上のハードウェア本体

上記10%UP対象に当てはまらない場合も、本サービスの対象外ではありません。
お気軽にお問合せください!

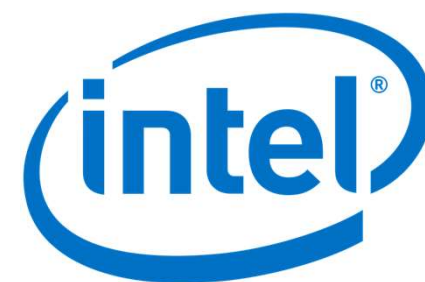
お問合せ窓口 jpn_device_refresh_svc@hp.com
受付時間：月～金 9:00～12:00 13:00～17:00
(土日祝、年末年始、5/1は休み)

※本サービスはエンドユーザー様との譲取りとなります。
※個人のお客様からの買取はできません。

ウラ



特別協賛 インテル株式会社様からのお知らせ



HP Sure Click

ウイルス感染したPDF、Word、Excel、PowerPointをメールで受信し、誤って開いても**絶対に**感染しない

インターネットエクスプローラーやChromeブラウザで悪意のあるサイトを開いても**絶対に**感染しない



HP Sure ClickはIntel VTを活用しています。

Intel VTとは？



Intel VT (Intel Virtualization Technology) とは、仮想化をハードウェアで支援する機能です。仮想化とは、1台のパソコンにて複数の仮想マシンを同時に動作させる技術です。通常は1台のパソコンにて動作するOSは1つですが、仮想マシンを利用すれば、例えばWindows 10と過去のWindowsの同時動作が可能となります。

HP Sure Clickは“資料ファイルを開くだけ”あるいは“ブラウザを開くだけ”という作業に特化した**極小の仮想マシン (Micro Virtual Machine)** をPCの中で瞬時に作り出します。PC全体を制御しているWindows10とは隔離された仮想空間の中でウィルスがいくら悪さをしようとしても本体には何の影響も及ぼしません。



ご清聴ありがとうございました。



Intel、インテル、Intel ロゴ、Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Intel Optane は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。引用された製品は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

